

各書店 裁判 日韓交流 韓国語 社会問題 ご担当様

いつもたいへんお世話になっております。12月4日配本の新刊〈法廷ドキュメント、日韓交流〉のご案内です。何とぞよろしくご注文くださいますようお願いいたします。*すべての取次からご注文が可能です（JRC 経由）

発売 港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比が浜 3-11-49 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375

12月4日発売/在日韓国人二世の法廷通訳人が見た法廷ドキュメント

チョンヘオク 丁海玉著

法廷通訳人

裁判所で日本語と韓国語を行き来する

ISBN978-4-89629-306-7 C0036 四六判/並製本/248頁/定価1944円（本体1800円+税）

◎在日韓国人二世の著者は、二十数年にわたって韓国語の法廷通訳を務めてきた。被告人が話す言葉（韓国語）を、また裁判官、弁護人などの言葉（日本語）を通訳する。人が裁かれる法廷の場で、人生を左右する言葉をやりとりし、時には人間の苦い闇がえぐり出され、時には人生のきしむ悲痛な音を聞く。法廷通訳の難しさ、裁判員裁判への移行、そして日韓の言語と文化の違いから生じるさまざまな出来事を描く、法廷通訳人が見た法廷ドキュメント。

◎「初めての裁判員裁判」での法廷通訳の様子は、当時、NHK テレビ（関西地域）で紹介されて話題になった。

◎社会のグローバル化が進む今日、法廷通訳の仕事も注目されてきているが、法廷で通訳するとはどういうことか、その仕事の内容、悩みなどを、著者の体験からわかりやすく語った、法曹界話題の書。法律・裁判用語には詳細な注をつけて、読者の便をたすける。**類書はない！**

◎日韓交流、韓国の言語と文化を知るために恰好の案内書！



著者紹介/丁海玉◎チョン・ヘオク
1960年神奈川県川崎市生まれ。在日韓国人二世。幼少期を北海道旭川市で過ごす。1984年ソウル大学校人文大学国史学科卒業。1992年大阪高等裁判所通訳人候補者名簿登録。大阪、広島、名古屋、高松各高等裁判所管内にて法廷通訳研修講師（韓国語）を務める。著書に、詩集『こくごのきまり』（土曜美術社出版販売、2010年）。詩誌『space』同人。

目次から
法廷通訳人になる
わたし、通訳いりません
だれがそれを、きめたんだ
アナタ、モウ、イイ
父と子の母語
まどろこしさの衣
五〇二号室にて
クロツスムニダ
判決重うなったんは、あん
たのせいや
名前を何といいますが
ハスリします
うごくなまえたち
ルビのかけひき
揺れるポニーテール
バーのむこう
初めての裁判員裁判

| | | | |
|--------|--------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ご注文申込書 | 貴店名・帖合 | 注文数 | 港の人 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375 |
| | | | ほうていつうやくにん 法廷通訳人 裁判所で日本語と韓国語のあいだを行き来する チョンヘオク 丁海玉著 四六判/並製本/248頁 定価1944円（本体1800円+税） |
| | | 冊 | ISBN978-4-89629-306-7 C0036 ¥1800E |

ご注文はJRCへ FAX 03-3294-2177

*返品条件付き注文扱い